

信州大学医学部附属病院に
通院中または過去に通院・入院された患者様またはご家族の方へ
薬剤部における臨床研究にご協力をお願いいたします。

2024年4月28日

**「病棟配置薬の標準化が睡眠導入剤の処方状況および転倒発生に及ぼす影響の評価」
に関する臨床研究を実施しています。**

信州大学医学部倫理委員会の承認を受け、医学部長の許可を得て実施しています。この研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。

倫理審査承認番号	6165
研究課題名	病棟配置薬の標準化が睡眠導入剤の処方状況および転倒発生に及ぼす影響の評価
所属(診療科等)	薬剤部
研究責任者(職名)	内藤 隆文(教授・薬剤部長)
研究実施期間	医学部長による許可日～2029年3月31日
研究の意義、目的	病棟配置薬としてオレキシン受容体拮抗薬を配置したことで、睡眠導入剤の処方状況や転倒発生に与える影響を調査します。本研究により、病棟配置薬の標準化が医療安全の向上に寄与しているか明らかとします。
対象となる方	2021年4月1日～2024年3月31日までの期間に当院で転倒した患者様を対象とします。
利用する診療記録	患者背景(年齢、性別、既往歴、転倒歴等)、入院時の情報、入院日、転倒日、転倒時の状況、使用薬剤、転倒転落アセスメントシートスコア(転倒の危険度)、転倒のインシデントレポート情報など
研究方法	過去の診療記録より上記の内容を収集し、病棟配置薬標準化前後での睡眠導入剤の処方状況、転倒率を評価する
共同研究機関名	本研究は、信州大学のみで実施されます。
問い合わせ先	氏名(所属・職名): 三村 享(薬剤部) 電話: 0263-37-3013

既存の診療記録、検査結果を研究、調査、集計しますので、新たな診察や検査の必要はありません。

当院外へ患者様を直接特定できる個人情報ができることはありません。

必要な情報のみを集計します。研究成果は今後の医学の発展に役立つように学会や学

術雑誌などで発表しますが、患者様を特定できる個人情報を利用しません。

この研究にご自分の診療記録等を利用することをご了解いただけない場合、またご不明な点については、上記問い合わせ先までご連絡くださいますようお願いいたします。

研究不参加を申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはありません。ただし、同意取り消しの申し出をいただいたとき、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合や、試料や情報が匿名化されて個人が全く特定できない場合などには、結果を廃棄できないこともあり、引き続き使わせていただくことがあります。